

山口情報芸術センター[YCAM] 滞在制作／新作演劇公演「PARK CITY」 関連イベント

山口大学特別講義「劇作・演出家のはなしを聞こう！」

講師：劇作家／演出家 松田正隆(マレビトの会)

2009年5月7日(木) 14:30～16:00[7・8限目]

山口大学人文学部第5講義室 (山口市吉田1677-1)

大学と連携し、地元山口の学生にむけて、演劇表現の魅力を伝える。
YCAMの新しい取り組み「出張レクチャー」、いよいよ開催。

山口情報芸術センター[YCAM]では、山口大学と連携し、YCAMに訪れる専門家やアーティストによる講義を、地元大学生に向けて実施する「出張レクチャー」を開催いたします。

この取り組みは、国内外の芸術分野、その第一線で活躍する専門家との交流の場を設け、地元山口の大学生に、美術表現に含まれる意味やその背景について、親しんでもらうことを目的としています。今回は、2009年8月よりYCAMに滞在し、新作演劇を制作・発表する劇作家／演出家の松田正隆を講師として迎えます。山口大学の授業「美学・美術史特殊講義」における「ツアー・パフォーマンス研究」として実施され、大学講師との対談形式により、学生の視点からわかりやすく授業がおこなわれます。なお、6月6日(土)には、一般の方々に向けたレクチャーをYCAMにて開催します。

YCAMの活動を、地元のみなさまにより身近に親しんでいただくためのこうした取り組みについて、取材等のご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



過去のレクチャーの様子(2007)

松田正隆(劇作家／演出家／マレビトの会)

1962年長崎県生まれ。1994年「坂の上の家」で第一回OMS戯曲賞大賞受賞。1996年「海と日傘」で岸田國士戯曲賞受賞。1997年「月の岬」で読売演劇大賞作品賞受賞。1998年「夏の砂の上」で読売文学賞受賞。青年団、文学座、演劇集団円などに作品を書き下ろしている。また、作品は韓国、中国、エジプト、アメリカ、フランスなど海外でも翻訳・上演されている。舞台戯曲のほか、黒木和雄監督作品「美しい夏キリシマ」にて映画脚本を手がけ、「紙屋悦子の青春」は原作として映画化されている。

2003年より「マレビトの会」を結成し、劇作及び演出活動を開始。マレビトの会の主な作品に「島式振動器官」、「バライゾノート」、「アウトダフェ」、「クリプトグラフ」などがある。現在、京都造形芸術大学 舞台芸術学科客員教授。



ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター[YCAM] 広報担当：廣田、辰村

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。